

「こどもフェスティバル2024」について新聞で取り上げられました



毎日新聞 2024年5月1日(水)  
播磨・姫路



**多彩なイベント  
「こどもフェス」**  
5日・姫路  
姫路市太市中の県立こどもの館で5日、恒例の「こどもフェスティバル」が開催される。道化師(クラウン)が登場する「コメディ・ミニ・サーカス」など子供たちや家族連れが楽しめるイベントが盛りだくさん。入場無料。コメディ・ミニ・サーカスは、名古屋市を拠点に全国で活動しているクラウンのグループ「フレジャーB」に

よるステージ。姫路市のNPO法人「はりまキッズランド」の橋渡しして10年以上前からこどもの館で定期的に公演してきた。午前10時からオープニングステージにクラウンが登場し、同日後半からメインステージの円形劇場で4人のクラウンによる約30分の公演がある。

円形劇場ではこのほか、姫路市立安富中の吹奏楽部、たつの市少年少女合唱団など地元の子供たちによる演奏がある。親子で参加できる工作教室、子供服や絵本のリサイクルバザーもある。  
午前10時～午後4時。問い合わせは同館(079・267・1153)。**【村元展也】**



読売新聞 2024年5月6日(月)  
播磨・姫路



工作を楽しむ親子連れ(姫路市で)

上手に工作できたかな

姫路こどもフェスティバル

姫路市の県立こどもの館で5日、「こどもフェスティバル」(読売新聞姫路支局など後援)が開かれ、親子連れらが工作教室やダンスなどの出し物を楽しんだ。

工作室では、子どもたちがこいのぼりや風車などのおもちゃ作りに挑戦。堺市の則直優希ちゃん(5)は発泡スチロールや色紙で握り寿司や巻き寿司をこしらえ、父親の英樹さん(45)は「大好きな工作を親子で楽しめてうれしい」と話した。

イベントの運営には、近隣の高校生約150人が参加。ステージでダンスを披露したり、ブースで手作りの菓子などを販売したりした。シフォンケーキなどを出品した県立太子高校調理手芸部の2年前田涼帆さん(17)は「子どもたちのかわいい笑顔を見られて、頑張ったかいがあります」とこやかに話した。